

# 「大学生主体の地域包括連携の在り方とは」

埼玉県立大学地域包括ケア推進セミナー

特定非営利活動法人ブランディングポート

安藤 奏

2024年3月8日



BRANDING PORT

若者の自律を育む実践家

## 安藤 奏 Kanade Ando

特定非営利活動法人ブランディングポート 代表理事

株式会社アクビー 代表取締役



### 経歴 (1988～)

1988

埼玉県春日部市  
に生まれる



1998

TV・CMの  
芸能活動



2007

浦和西→立教  
法学部入学



2011

(株)オリエンタル  
ランド人事部



2017

研修教育会社  
起業

ácbe

2022

NPO法人  
設立

BRANDING PORT

# 本日の流れ

## Section 1

私たちの取り組み

## Section 2

大学生の主体的な  
地域参画に向けて

## Section 3

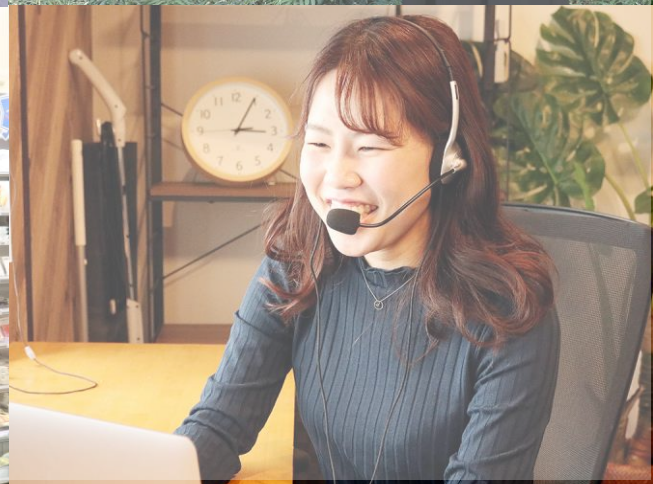
質疑応答

# 私たちの取り組み



# B BRANDING PORT

特定非営利活動法人 ブランディングポート



# 私たちのミッション

Mission～果たす使命～

☀️すべての若者に  
“自分ブランド”  
な生き方を

現代の多くの若者は、“本当の自分”を肯定できずに、誰かにとっての正解になるような自分であることに生きづらさを感じている。

一つだけの正解や絶対が存在しない未来を生きるすべての若者が、「経験」という投資行動を積み重ね、自律的にキャリアを切り拓くための自信を育んでほしい。そして彼らが得た自信を人生の中で関わる多くの人たちに循環させてほしい。

そのような思いからすべての若者が自分の強みや情熱＝自分ブランドな生き方を見つけ、港のようにいつでも立ち寄れる「純粋な拠り所」として活動しています。

ブランディングポートはこれからも

「若者が自律的にキャリアを切り拓き、自信を循環させる社会」を目指します。

すべての若者に  
“自分ブランド”  
な生き方を

若者と地域をつなぐコーディネーターとして、  
大学生に対して「地域創生×キャリア教育」を提供する

1

経験学習型インターンシップ  
B-CAMP(ビーキャンプ)



産官学民連携の「地域活動」に取り組み、  
専属メンターと自己認識を高める  
長期インターンシップ  
※経済産業省キャリア教育アワード受賞

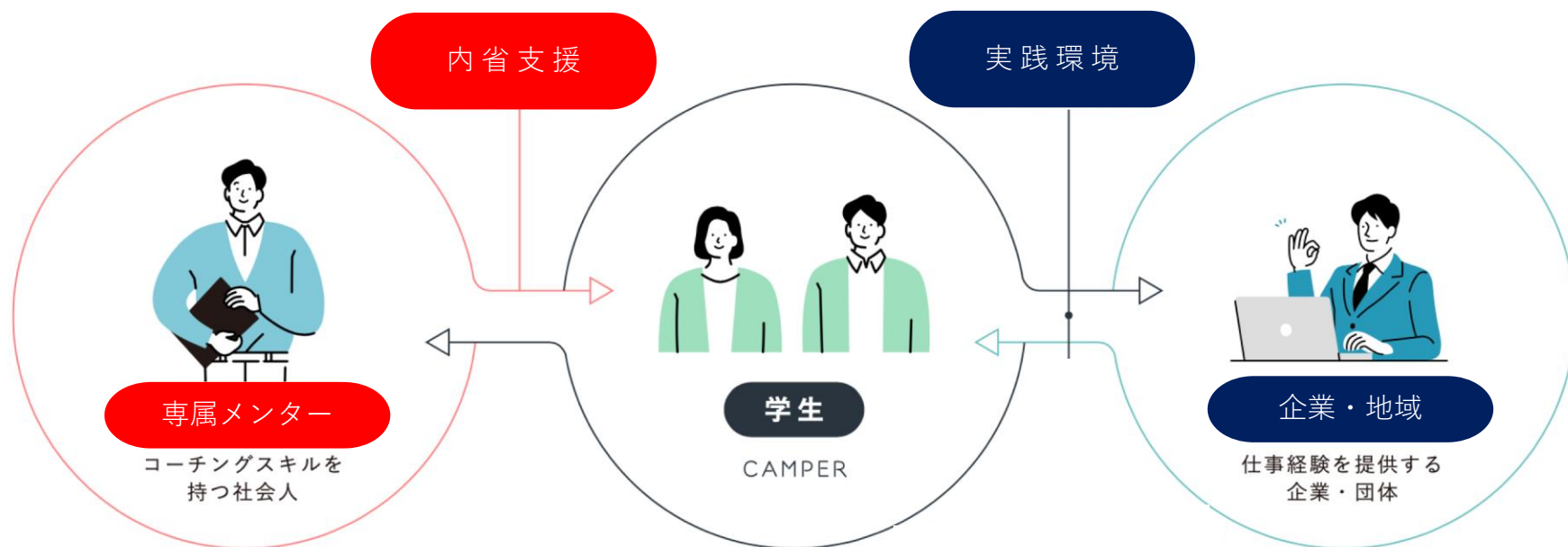
2

キャリアセミナー  
B-COMPASS(ビーコンパス)



「就職活動やキャリアの学び」を提供し、  
自分の将来の展望を深める  
キャリアセミナー

大学生に対して「企業地域と連携した実践環境」と「メンターとの内省機会」を提供することで「自分の強みや情熱」を発見する経験学習型インターンシップ



 BRANDING PORT

ブランディングポートは「コーディネーター」として両面をサポートします。



“本”を通じて若者と地域のつながりを！

## 本を通じた地域活性イベント 「としまBook Talk！」

豊島区の地域活性化のため、地域に根ざすソーシャルライブラリーにて書評イベントを企画開催



子ども達が遊んで学べる教育の場を！

## Sunshine City PLAYPARK 「ゴミゴミパニック ヒーローになって街を守ろう」

子供たちがゴミを撃って地域を守る、遊んで学べるSDGs教育イベントを企画開催。子どもや保護者390名参加。



連携企業

マテックス株式会社



連携企業

株式会社サンシャインシティ



地域に社会貢献の担い手となる若者を！

## 学生×NPOの社会貢献マッチング 「としまの広場」

豊島区の社会貢献の活性化のため、  
区内NPO6社と大学生高校生のマッチング交流会を開催



連携企業

NPO法人としまNPO推進協議会

地域住民がもっと愛着を持てる街へ！

## 子どもの街歩き & 謎解きツアー 「もんなか発見ツアー」

再開発エリアである江東区門前仲町にて、  
自分の街の愛着を高める街歩きイベントを企画開催



連携企業

三菱地所レジデンス株式会社

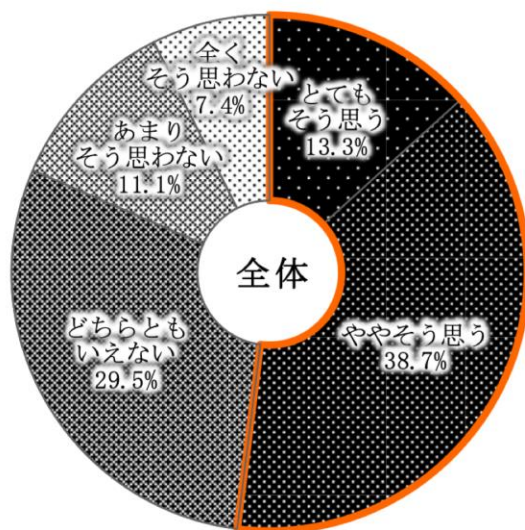
# 大学生の主体的な地域参画に向けて

日本の若者は社会課題に「意識」はあるが「行動」に移せていない  
実践者として「はじめの一歩目をどのように作るか」が最大の論点

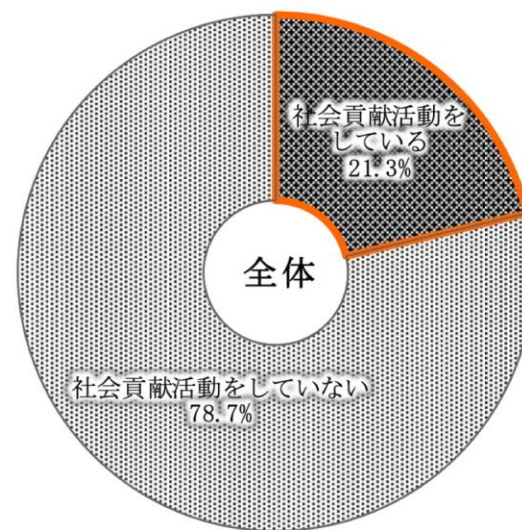
## Ex2：社会課題の解決意欲と行動のギャップ

環境問題・社会課題の解決の役に立ちたいか

日頃社会貢献活動を行っているか



全体= 1000



全体= 1000

出典：日本総研「2022若者意識調査」  
サステナビリティ、金融、経済教育、キャリア等に関する意識



選択肢が多く忙しい大学生たちが地域活動の一步目を踏み出すには、  
「知る」だけでなく「**決め手**」が大事になる

## 組織単位の連携

大学生を抱えるリーダーや団体との関係構築

大学の教授や学生団体の代表などにアプローチすることで「組織(ゼミや団体)単位」で連携。組織的な連携により学生運営の課題となる継続性も生まれる。

## 成長できる環境づくり

社会貢献に参画することで成長できる環境の整備

大学生は「成長」「キャリア」というキーワードに関心が高い。将来に繋がるスキルや知識習得ができたり、関わることで成長を実感できる仕組みを作る。

## アンバサダーとの協働

学生1人ひとりとの関係性を大切に扱う

団体の魅力を知っている「学生アンバサダー」を中心とした活動のニーズ調査・口コミなど。既存の参加学生のエンゲージメント(愛着)をいかに高めるか。

## プロボノ人材の活用

専門知識や技能を持った社会人の組織における利活用

## 地域での包括的な連携

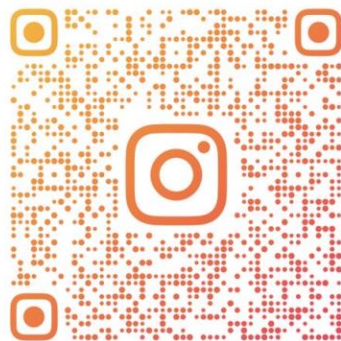
各団体や個人の専門領域や強みをもとに補完し合える地域体制づくり



BRANDING PORT



Xアカウント



Instagramアカウント



公式ホームページ